

水戸英宏小学校・中学校が環境大臣賞金賞を受賞

低炭素杯2017で茨城県勢2団体が3部門受賞の快挙

平成29年2月17日 茨城県地球温暖化防止活動推進センター

<プレスリリース要約>

低炭素杯とは、環境省、文部科学省が後援し、温暖化防止全国ネットが実行委員会を組織する、我が国最大のエコな取組について発表し合うプレゼン大会です。

全国の市民・企業・学校・自治体等の多様な取り組み紹介、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動、取組のノウハウや情報を共有し、低炭素社会に向けて意欲を創出する「場」となることを目指して開催されています。低炭素杯2017には、全国のから951団体が名乗りを上げ、有識者による厳しい審査を経て、市民部門7団体、自治体部門3団体、学校部門9団体、企業部門7団体の計26団体がファイナリストに選出されました。大会には、茨城県から緑丘学園 水戸英宏小・中学校（学校部門）、倉持産業(株)（企業部門）で出場し、緑丘学園 水戸英宏小・中学校が、見事に学校部門の頂点となる「環境大臣金賞」と、当日の来場者による最多投票「オーディエンス賞」のダブル受賞を果たし、倉持産業(株)は企業団体審査員特別賞となる「最優秀エコガニック賞」の受賞に至りました。

<低炭素2017>

主催：低炭素杯実行委員会（一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット）

後援：環境省、文部科学省他

日時：平成29年2月16日（木） 最終選考プレゼン発表・結果発表・表彰式

場所：日経ホール 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル

<受賞内容>

- ① 緑丘学園 水戸英宏小・中学校（水戸市）「ホテルネットワーク mito 英宏 eco スクールプロジェクト」
環境大臣賞・金賞（学校部門）及び オーディエンス賞 の ダブル受賞
（プレゼン）

偕楽園公園に位置する耕作放棄地を生物多様な空間に再生し、昔生息していたホテルを呼び戻そうと市民、学校、行政が連携して活動を展開する「ホテルネットワーク mito」が結成され、学園下の放棄地と湧水水路の再生に取りかかった。森の間伐、不法投棄のゴミの撤去等を行い、蛭復活に成功を遂げた。

延べ2,500人の市民を巻き込んだ間伐による160tのCO₂削減に加え、うちエコ診断の集団受診、学園全体1,400本の照明の節電、水戸ホーリーホック公式試合のエコステーション等に学園全体が取り組んだことが高く評価された。学校部門の最高の栄誉である環境大臣賞・金賞を受賞、ゲスト審査員60名の投票で決定するオーディエンス賞も受賞する快挙となった。



生徒達の寸劇によるプレゼン



オーディエンス賞 受賞



環境大臣賞・金賞 受賞

② 倉持産業(株) (常総市) 「鶏も人も幸せ！持続可能な低炭素養鶏業のすすめ」
 最優秀エコガニック賞 受賞
 (プレゼン)

倉持産業は、大手企業も多数選出されている企業部門から出場。

1日当たり鶏卵を120万個出荷している常総市を拠点とする事業所。7年前に省エネ・環境提案部を設立し、近隣への悪臭や排水及び廃棄物処理等に真摯に取り組んできた。廃棄物対策として卵の殻は製鉄所で必要な還元剤として利用、鶏糞は2ヶ月かけて有機肥料として有効利用することで2015年茨城県堆肥コンクール特別賞、茨城県知事賞を受賞している。

今回は、養鶏場内の鶏に優しい電磁波の少ないLED灯の導入、鶏舎の屋根にロケットにも使用している遮熱・断熱塗料に塗布することで冷暖房効率の向上を図ることができた。平成28年省エネの達人(BSジャパン・テレビ東京系)の企業編で大賞を受賞した成果を発表。

継続した低炭素の取組が評価され、最優秀エコガニック賞が贈られた。



社員達の寸劇によるプレゼン



最優秀エコガニック賞 受賞



★問い合わせ先

★一般社団法人 茨城県環境管理協会 担当：川島省二

★TEL 029-248-7431 FAX 029-240-1270 email kawashima@kankyokanri.or.jp